

新潟市・黒埼町合併協 行政制度がほぼ合意に 次回から建設計画を検討



協議会であいさつをする会長の長谷川市長(左)と副会長の浅妻町長(右)

同協議会の開催は今度で二百五十項目にわたる行政七回目。これまでの協議会 制度のうち、約九割については福祉、保健、教育など、で合意されています。今

本市と黒埼町の合併問題を検討する「新潟市・黒埼町合併問題協議会」(会長 長谷川市長)が先月開催された。これを調整してきた行政制度のほぼ全体が合意に達したが、次回の協議会から、まろくりの全体像を示す建設計画について協議することが了承されました。

域 両津市

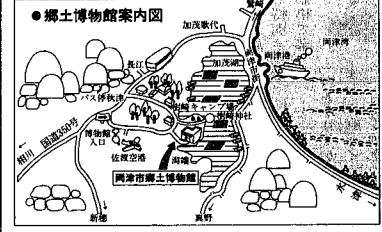
旅の途中にならね 郷土博物館へどうぞ

両津市には、佐渡特有の文化を紹介する両津市郷土資料館があります。同館では「海」「くらしと木」「祭」の三つのテーマに分かれて貴重資料が展示されています。

「海」では、両津湾を中心とした漁の様子を、実際に使われていた漁具などを展示しながら説明しています。佐渡には、かつては、海との関わり合いは欠かせないもので、島の風土の中からは

くまれた文化を知ることができます。同館では、佐渡特有の文化を紹介する「くらしと木」では、佐渡の特産の竹細工と木工品を紹介。道具や器として、佐渡の人々の暮らしの中で木や竹がどのように役立ってきたかを紹介します。

「祭」では、いろいろな地方からたどって来た文化を吸い取ることによって生まれた、佐渡独特の祭文化を紹介しています。また、ここでは国の重要無形文化財に



指定されている文脈人形などが鑑賞できます。

佐渡にお出かけの際には、歴史が織り込まれた両津市郷土資料館へぜひ遊びに来てくださ

入館料 二百円
午後四時～午後九時 午前九時～午後四時半
高校生百五十円
小学生五十円

交通 両津市街から車で十分。バス本線秋津下車徒歩二十分

固定資産税

土地の利用状況で 税金は変わります

土地や家屋などに賦課される固定資産税の税額は、土地の利用状況や家屋の新築、減失などにより異なります。特に住宅地の敷地は、空き地や事業用などの敷地に比べて税額が大幅に軽減されます。

平成八年中に土地の利用状況を変更したり、住宅用家屋を取り壊したときは、申告が必要の場合があります。申告が必要の場合、申告期限までご連絡ください。

申告が必要な場合 ①住宅を取り壊した場合の住宅用家屋(☎0259・2・3・2110)へ
②固定資産税課長(☎0259・2・3・2110)へ

市史編纂部が「第19号」を発行

終戦直後の生活を紹介します

ふるさと新潟の歴史が染めながら読める「市史」(昭和二十一年)の第十九号を発行、市内の主な書店で発売します。

伊藤取光さん(現代史部主任編集委員)の論文「昭和二十一年代における新潟市の混雑生活」が復興期までの

水道管も冬の備えを 凍結・破裂にご注意!

水道管は気温がマイナス三度以下になると凍結・破裂が増え始めます。本格的な冬の到来の前に家庭の水道管を点検しましょう。また、年末年始に帰省や旅行などで長期留守にする場合は、止水栓を閉めておくか、くさくさい。

露出した水道管やビニール管の上上がり部分は、最も凍結しやすい部分です。露出した水道管には、保温材の取り付けが効果的です。費用は、一メートルあたりから八千三百円程度です。

ビニール管の立ち上がり部分の防凍材付き鋼管への取り換えは二メートル一万五千元、水道局の一部負担をさせていただきます。いずれも申し込みは、電話で同センターへ

お問い合わせ 西新潟：水道局庶務課(☎226・6931) 東新潟：水道局東工務事務所(☎224・1877)へ

同協議会の開催は今度で二百五十項目にわたる行政七回目。これまでの協議会 制度のうち、約九割については福祉、保健、教育など、で合意されています。今

本市と黒埼町の合併問題を検討する「新潟市・黒埼町合併問題協議会」(会長 長谷川市長)が先月開催された。これを調整してきた行政制度のほぼ全体が合意に達したが、次回の協議会から、まろくりの全体像を示す建設計画について協議することが了承されました。

同協議会に入ることで決まりました。

本市と黒埼町は、平成五

年度から両市の合併問題について本格的な調査・検討に入り、平成七年二月に任意の協議会である「新潟市・黒埼町合併問題協議会」を設置。二百五十項目にわたる行政制度の調整を進めてきました。

同協議会の委員は、会長

利用割合の変更があった場合など

提出期限 一月三十一日

問い合わせ 資産税課(市役所本館二階☎内線2334番)へ

※申告書は、資産税課にある窓口で、郵送希望の方は同課までご連絡ください。また、住宅用以外の家屋を取り壊し、減失登記をしていない場合も、ご連絡をお願いします。

このほか、論文「近世史料から見た三津津」は、近世史料から、浦原津・沼津・新津とという三つの港の位置と時代をさかのぼり確認しようという試みです。市史編集委員は、信濃川河口部の水深が浅く大型船が入らなくなった新潟港を、近代港湾にしようという大正時代の修築工事に

同じ余韻の中で、昭和八年から二十六年までは毎年新潟市内で発生した通り魔事件を扱ってました。

ぜひご購入ください。

価格 六百円(A5版八十六頁)

お問い合わせ 市史編纂課(☎内線2253番)へ

児童センター

問い合わせ 同センター(万代市民会館 ☎246-7711)へ

※月曜日(祝日)にあたるときは翌日休館。開館午前10時。年末年始の休館は12月29日～来年1月3日

園ジャンボカルタ大会

日時 来年1月5日午後1時半～3時
対象 小学生先着30人
申し込み 電話で同センターへ

子ども映画展

日時 来年1月7日午後1時半開場
対象 幼児(保護者同伴)、小学生
申し込み 当日直接同センターへ

母親のついでカルタで遊ぼう

日時 来年1月10日午前10時半～11時半
対象 就園前の幼児と保護者
申し込み 当日直接同センターへ

工作教室「羽子板・コマを作って遊ぼう」

日時 来年1月11日午後1時半～3時半
対象 小学生先着16人 参加費 280円
申し込み 電話で同センターへ

園一輪車ミニミニ練習会

日時 来年1月19日午前10時半～正午
対象 小学生1・2年生の初心者先着10人
申し込み 電話で同センターへ

おはなしの部屋(絵本の読み聞かせ)

日時 来年1月19日午後2時～4分5分
対象 幼児(保護者同伴)、小学生
申し込み 当日直接同センターへ

市民学級

日時 12月18日午前10時～正午
会場 善野木地区公民館
内容 ふるさと善野木の歴史
申し込み 当日直接会場へ
問い合わせ 会場(☎280-6810)へ

アロマセラピー体験

日時 来年1月21・28日午後6時半～8時半(2回コース)
会場 鳥屋野地区公民館
定員 先着20人 参加費 3,000円
申し込み 会場(☎285-2371)へ

さかいわ国際交流のついで

日時 来年1月11日午後1時～3時
会場 坂井輪地区公民館
内容 レクリエーションゲーム
定員 先着100人
参加費 18歳以上200円、小学生以上18歳未満100円
申し込み 会場(☎269-2043)へ

万代市民会館

世代交流もちつき大会

日時 12月22日午前11時～午後1時半
会場 児童センター
内容 もちつき、子どもの民謡、三味線、バンド演奏、ほか
申し込み 当日直接会場へ
問い合わせ 同館(☎246-7711)へ

市美術館

実習講座「シルクスクリン印刷」

日時 来年1月18日～3月29日午後2時～4時(全10回)
会場 市美術館 参加費 14,000円程度
対象 シルクスクリーンの基本をマスターし、自分で刷りのできる経験者20人
申し込み 12月22日(必着)までに往復はがきにて講座名、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し会場(西大畑町5191-9 ☎223-1622)へ ※応募多数の場合抽選

1997年版県民手帳を頒布

最新の統計資料や市民生活に役立つ便覧などを収録した県民手帳を頒布します。

価格 400円
表紙 青緑色と薄茶色の2色
発送 12月27日までに総務課(市役所本館4階☎内線2117番)または地区事務所へ

天寿園定期コンサート

日時 きょう12月15日午後0時半～2時
会場 天寿園ホール
出演 おたまじゃくし
曲目 クリスマスソング、ほか軽ジャズ
問い合わせ (新)都市緑化推進協会(☎内線3422番)へ

国の教育ローン

年金教育資金貸付

年金積立金を融資とし、厚生年金保険および国民年金に10年以上加入している人に、高校・大学などの教育費を低利で貸し付けています。

金額(一人につき) ①厚生年金保険加入者…100万円以内 ②国民年金加入者…50万円 返済期間 8年以上
融資利率 年3.1%(11月1日現在)
申し込み (財)県年金福祉協会(☎241-6800)へ

調理師業務従事者届の提出を

下記の業務に従事する調理師は、二年ごとに調理師業務従事者届の提出が必要です。

届け出が必要な調理師 飲食・喫茶店営業者、魚介類販売業者、そうざい製造業者、学校や病院などで多数の人に飲食物を供する施設に勤務している人

提出期限 来年1月15日
問い合わせ 届出先 (財)県調理師会新潟市支部(学校通2-592 ☎228-8639)へ

集まれみんな仲よし

日時 来年1月25・26日(1泊2日)
会場 県青少年研修センター(巻町)
内容 昔の遊びやもちつき体験、工作、ほか 参加費 3,000円
対象 小学4～6年生先着150人
申し込み 会場(☎256-77-2111)へ